

平成 11 年 7 月 29 日
日 本 学 術 会 議

世界科学会議（World Conference on Science）について（報告）

～ 21 世紀のための科学 新たなコミットメント ～



1. 会議の名称 世界科学会議 World Conference on Science
2. 主 催 UNESCO(国連教育科学文化機関)及びICSU(国際科学会議)の共催

ICSU(国際科学会議)については、「参考資料」を参照
3. 開催期間 1999年6月26日(土)～7月1日(木)
4. 場 所 ブダペスト(ハンガリー)
5. 参加者 加盟国、研究機関、教育機関、学界、産業界、政府間機関、非政府機関、マスコミ、一般市民等(約2,000名)
6. 会議の趣旨 テーマ「21世紀のための科学 新たなコミットメント」

科学が直面している様々な問題について、政府、科学者、産業界及び一般市民が集まり、その理解を深めるとともに、戦略的な行動について、世界のトップレベルの科学者の中で討議することを目的として開催された。

最終日には「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」(http://www.unesco.org/science/wcs/eng/declaration_e.htm)が採択された。

7. 日本の活動

世界科学会議では、日本学術会議関係者として以下の者が発表を行った。

- (1) 吉川弘之会長が、全体会議において基調講演「学術領域の再編成」を行った（別紙 和文要旨）。
- (2) 星元紀会員が、分科会「複雑系への科学的アプローチ」に参加し、「生物における複雑系」を講演した。
- (3) 木村捨雄科学教育研究連絡委員会幹事が、世界科学会議に関連して開催された国際科学会議科学能力開発計画において、日本に関する国別報告「日本の科学教育におけるインターネットの革新的利用」を行った。

このほか、大橋秀雄会員、安樂泰宏会員の計 5名及び事務局として永島泰彦事務局長他 計 3名が世界科学会議に出席した。

日本学術会議関係者以外では、文部省佐藤禎一事務次官が日本参加団を代表して演説した外、松浦晃一郎駐仏大使、東京大学黒田玲子教授及び京都大学田隆一教授が分科会においてそれぞれ講演した。また、議事進行役員副議長を早稲田大学平野健一郎教授が務めた。その他、「環境と持続的発展に関する国際計画」において山梨大学竹内邦明教授がUNESCO国際水文学計画議長として講演した。

8. その他

(1) ハンガリー科学アカデミー等との交流

吉川弘之会長は、ブダペスト滞在期間中、ハンガリー科学アカデミー、同附属研究院、ブダペスト工科大学及び国家技術開発委員会との会合を持ち、科学アカデミーの役割と活動、科学技術政策などについて意見交換を行った。

(2) その他

吉川弘之会長は、世界科学会議関連イベントとして開催された第1回ブダペスト国際科学映画祭において審査員を務めた。

9. 世界科学会議に関する Web サイト

(1) UNESCO

ア 事前広報用

URL: <http://www.unesco.org/science/wcs/index.htm> (日程や宣言などを掲載)

イ 同時中継用

URL: <http://www.unesco.org/opi/science/> (会期中の出来事を随時更新していた。)

(2) 文部省：文部省ニュース (1999年4月)

URL: <http://www.monbu.go.jp/news/00000325/>